

「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」に関する意見

平成28年10月17日 中央教育審議会 教育課程企画特別部会の要請により、標記の内容につき、特に指導体制に関して本会としての意見を求められましたので、下記の事項を中心に意見陳述をしましたので概要を報告します。

記

中央教育審議会初等中等教育分科会

教育課程企画特別部会 主査 無藤 隆 様

全国連合退職校長会 会長 戸張敦雄

教育課題委員会委員長 田中昭光

学習指導要領を改善し学校教育を一層充実させることは重要です。教育課程部会における審議のまとめ内容について概ね賛意を表します。

以下、次期学習指導要領の実現に欠かせない指導体制について意見を述べます。

- I 「教育は未来への先行投資である」と心得、思い切った計画的な教職員定数の改善により、子供一人一人に目の行き届く指導体制を充実する。
 - 1 すべての小学校で専科指導を進めるための教員配置を確実に確保する。
 - ① 4技能が指導できる英語科担当教員の確保、及び、A L T(英語指導助手)の全校への配置
 - ② 実験・実習・実技を重視する理科、音楽、図画工作、体育などの専科教員の配置
 - 2 義務標準法を改正し、障害のある児童生徒が通常学級に在籍しながら特別な指導を受ける「通級による指導」を担当する教員や、外国人児童生徒の日本語指導等に対応する教員については、対象となる児童生徒数に応じて教員を確保する。
 - 3 貧困等に起因する学力課題の解消に向けた取り組みやいじめ・不登校・自殺などの未然防止・早期対応の強化のため、必要な教員定数の拡充を図る。
- II 「深い学び」を実現する授業改善の視点であるアクティブ・ラーニングの実践には、これまで以上の教員の創意工夫と指導力の向上が必要である。そのための校内研修(O J T)や校外における研修(O F F J T)に参加できる体制の整備を図る。
- III 優れた資質能力を有する教員を確保するため、教員養成を充実させるとともに、人材確保法を堅持し、教員の服務の特殊性に見合う給与等、処遇の維持・改善をはかる。

以上

全国事務局長会が出された意見の概要

平成28年10月6日開催され全国事務局長会において、約90分の時間設定で、情報交換・課題のグループ別話し合いが持たれました。その概況を報告します。

共通話題は「期待感が持たれ、存在感のある退職校長会を目指す活動・実践事例」です。限られた時間内での各団体の意見の集約は、かなり概括的なものになり真意が十分把握できていないきらいもありますが、ご了承いただきその意のあるところをご理解くだされば幸いです。

《出された意見の概要》

① 現職校長との関わりに工夫

- 準会員制度を生かして新会員の加入方策を考える必要がある。
- 現職校長との話し合い、退職校長会のねらいや活動を理解して貰う必要がある。
- 普段から現職校長を支援し、情報交換を足しげくすることが大切。現職校長は多忙で退職校長会の支援・協力なしには乗り切れない状況がある。
- 現職校長会との交換会（趣味の会も含む）を行っている。効果があるように思う。
- 学校支援ボランティアをしている。「子供たち・学校を支援します」のチラシを配布し全校長に知らせる。
- 学校からの要望でボランティアティーチャーを実施している。
- 学習支援ボランティア活動を行っている。
- 人材バンク表を作成し、現職へ提供している。今後は組織的な取り組みにしたい。
- 期待感を示すことが大切。小中高との交流会を持つ。
- 現職への応援団として、やりがい・生きがいを持つ活動の意識が大切。
- 善行児童生徒の表彰を行っている。授賞式での児童生徒の目の輝きが印象的である。
- 現職、退職校長会が年3回情報交換を行い、現職に代わって行政との折衝を行う。
- 現職を支えるため情報交換を密に行っている。

② 広報活動に工夫

- ホームページ（以下HP）の立ち上げに努力している。
- 会員減少傾向には、価値観の変化が必要。HP等でメリットを具体的に伝える努力
- 会報に力を入れ信頼関係を強める。地域の活動・情報掲載の地区情報を交換し合う。
- 会報を会員だけでなく、現職者にも送る。
- 福利厚生に関する情報を流すように努めている。

③ 会の運営に工夫

- 総会を各支部（各市・各地区）持ち回りで開催し、存在意識を持つようにした。退職校長会の活動の意義を認識するようにした。
- グループ研修活動に力を入れている。生きがいづくりや福祉の活動に取り組んでいる。
- 教育委員会と退職校長会との会合を持ち存在感を示す。
- 教育委員会の「教員採用前実践的指導力養成講座」の事業を受託し、実施している。

④ 地域との接点に工夫

- 趣味作品展を開く。講師として地域に貢献する。
- 地域活動の応援、経験を生かしたボランティア活動。
- 支部活動を充実し、教育支援活動を市民にアピールする。

⑤ その他

- 会員の加入・退会の状況が、本会への期待感・存在感を示していると思う。
- 再任用校長が多くなり、入会をためらう傾向が見られる。